

大草谷津田いきものの里 自然観察会

カエルぴょこぴょこ何種類？

木下順次（千葉市）

日 時： 2012年6月3日（日）10時30分～12時

天 候： 曇り

参 加 者： 大人28名 子ども30名

担当指導員： 芳我めぐみ・木下順次

当日まで雨の予報が出ていたにもかかわらず結局曇りのまま観察会日和の一日となりました。市政だよりを見て参加した初めての方や、リピーターの方々など次々に参加者が集まり、駐車場の整理が必要になるほどの盛況でした。子どもが30名というのは、大草で一番人気のオニヤンマの回よりも多く、今年一番ではないかと思います。応援の指導員もたくさん来てくださいました。が、田圃まで降りてカエル探しを始めたらもうみんなに集まってもらって説明をすることはできなさうなので、入り口広場で最初に芳我さんから写真や図鑑を使ってカエルの説明をしていただきました。



大草いきものの里で知つてもらいたいのはニホンアカガエル、アズマヒキガエル、シュレーゲルアオガエル、ニホンアマガエルの4種類です。

昨年はたくさん見つけることができたシュレーゲルアオガエルの卵塊は、今年3週間ほど時期が遅いためか、一つしか見られませんでしたが、代わりにオタマジャクシが田圃の中も畦脇の水路にもたくさんいました。また、今年は卵が少なく心配していたニホンアカガエルの幼体が湿地の中にたくさん跳ねていたため、みんなで捕まえて、めいめいしっかりと観察ができたようです。水の張った田圃があり、畦をあがると湿地を通って斜面林に連なる…そこには人工物で固めない里山自然の環境があります。こうした環境があつて初めて、両生類は暮らしていくのだということを、オタマジャクシやカエルの幼体を見て理解してもらえたのではないかでしょうか。

本日観察できたカエルは、他にニホンアマガエルの成体で、残念ながらシュレーゲルアオガエルは鳴き声のみの観察でした（あんなにはっきり聞こえるのに、一体どこにいるのだろう？）。

個人的には、まだニホンアマガエルの卵とオタマジャクシを存分に観察した経験がないため、来年

こそは子どものたくさんの目を借りて探してみたいと思います。



※カエル以外にもシオヤトンボに引き続き、シオカラトンボやショウジョウトンボも飛び始め、水の中ではアカネ類のヤゴ、イトトンボ類のヤゴも観察できました。これからシーズンを迎える、トンボ観察の予告編として丁度よかったです。